

人を想い、夢を創り、未来へ繋ぐ







## Message

井森工業は昭和2年(1927)に山口県熊毛郡伊保庄村(現 柳井市)で創業し、土木、建築、地盤改良の3つの基軸の強みを活かし、90年の長きに渡って、時代のニーズに対応する基盤を築いてまいりました。

現在の激動する経済・社会情勢や自然災害などの厳しい環境のなかにあって、私たちはこれまで築き上げてきた実績と技術、「ものづくり」へのこだわりをもって社会の期待に確実に応えていこうと考えています。

そのために、「ものづくり」の原点である「ひとづくり」に力を注ぎ、また創業以来変わらぬ地域社会に根ざした企業という遺伝子を引き継ぎ、お客様から信頼される誠実な企業であるよう今後とも務めてまいります。

代表取締役社長 **吉崎 雅弘**

土木工事業



井森工業だから  
できることがある。

建築工事業



地盤改良工事業



# 井森工業の 三本柱。

## 私たちの使命は、 社会基盤を整備し、 その価値を未来に 引き継ぐこと。





# Vision

技術と信頼

あらゆる分野で、多様化するニーズに応える豊かな経験と技術力を発揮、さまざまな課題に真摯に取り組み信頼される企業を目指します。



アーチ構造と吊り構造を組み合わせたハイブリッド構造による大屋根の維新百年記念公園陸上競技場。

井森工業には長年の経験から得た確かな技術があります。私たちのモットーは、絶やさない「技術の光」。私たちの技術はものを創ったら終わりではありません。お客様がいつまでも安心や満足感が得られるよう使い続ける価値の創造や、提案力の提供こそがゴールなのです。さまざまな技術やノウハウを融合し、お客様が期待される真の価値の提供を目指して頑張っています。



建築部 工事長 二武 崇

井森工業は、小型の現場から大型の現場までどのような規模にも柔軟に対応できる技術力を持っていることが大きな魅力だと思っています。

印象に残っている現場として、JA山口ビルの本館棟があります。こちらは地上躯体はSRC造で外壁がカーテンウォールダブルスキン構造という、県内でも珍しい工法が使われています。しかも免震構造で、完成時には達成感がありました。免震に関しては、当社にも免震部建築施工管理技術者がおり、免震基礎の施工方法も含めてこれからはますます注目度が高くなると思います。

もう一つ忘れられないのが山口市の維新百年記念公園陸上競技場の工事です。ハイブリッド構造とよばれる3つの要素を組み合わせた工法で組まれた屋根は複雑でとてもハードな仕事でしたが、当時の所長を中心としたチームワークの良さで楽しく乗り越えられ、人とのコミュニケーションの大切さを実感した現場でした。



JA山口ビル



カーテンウォールダブルスキン構造



最先端の免震技術を採用

# Mission

挑戦と継続

ものづくりには、チャレンジスピリットとたゆまぬ努力が必要です。井森工業はこれからも新しい時代を切り開く精神を持ち続けます。



東京国際(羽田)空港拡張工事にて。右から4番目が弊社SCP船。

人と未来に役立つ建設物を提供したい。もっと快適な暮らしを、もっと地球に優しく、その思いを胸に、井森工業は恒常的に技術力を磨いてまいりました。今よりもっと素敵な明日を見つめてチャレンジを続けます。



土木部 工事長 松成 智和



東京港新海面処分場地盤改良工事(左下から右へ3番目 弊社SCP船)

海外進出 平成14年(2002) 韓国大山港



平成15年(2003)～ 東京都発注 ケーソン製作工事を受注。地元柳井の自社ドックで長年培った技術と経験が活かされています。

井森工業は、全国に数社しかないサンドコンパクション船団の保有企業です。この作業船は軟弱地盤中に砂を圧入し、締固まった砂杭を形成して地盤を安定化させることを目的としたものです。当社では、材料を一旦引き抜いてから押してやるという「打ち戻し工法」を使って施工しています。

大きな挑戦として、東京港で施工した新海面処分場と呼ばれる廃棄物の処分場を建設する大型プロジェクトの工事があげられます。ここは、全国から集ったサンドコンパクション船が揃って施工を行ったかつてない環境で、とても緊張感のある現場でした。

もう一つは、初めての海外である韓国大山港での工事です。向こうは潮の干満差が10メートルもあり、タイミングを間違えると施工中に現場が干潟になる可能性もある大変な現場でしたが、無事に完成することができました。

これからも技術者としてプロ意識を持ち、より良い工法の追求にチャレンジしていきたいと思っています。



# Regional Contribution

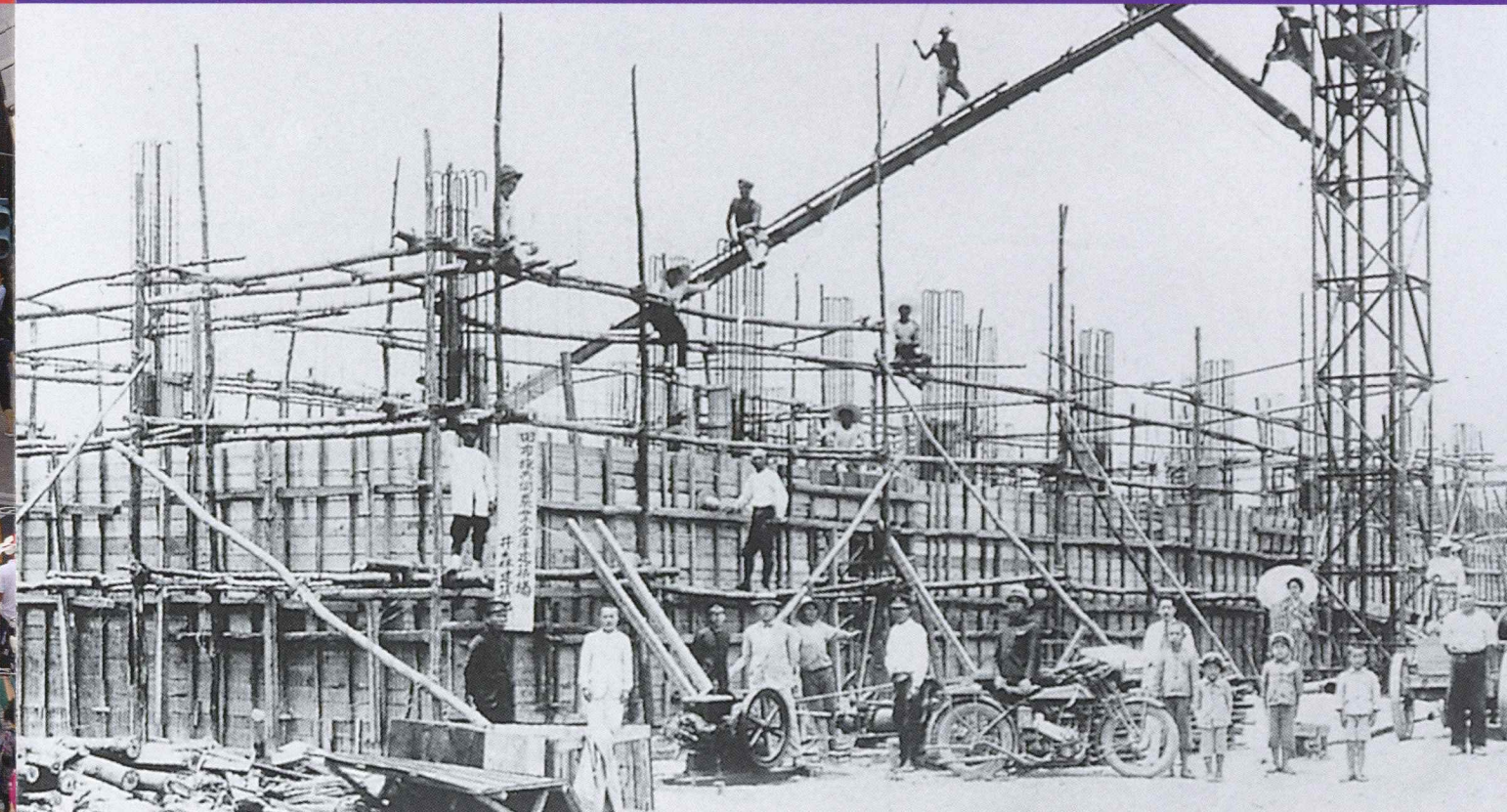
社会とのつながり

# Company History

わが社の歩み



井森工業も従業員が自作したねぶたで参加!柳井金魚ちょうちん祭り。



昭和5年(1930) 田布施農業倉庫新築工事。時代の先端を行く、鉄筋コンクリート造であった。

社会に貢献できる企業を目指す、それが私たちの想いです。  
積極的な社会参加や支援活動を通じて  
多くの方々とのつながりを大切にしたいと考えます。  
私たちが関わる多くの人々と一緒に考え、共に行動し、  
社会の一員としての役割を果たしていきます。



柳井金魚ちょうちん祭り



(左) 総務部 主任 藤井 聡美 (右) 総務部 下村 恵美

藤井: 私は柳井出身なのですが、会社に入ってから卒業した小、中学校の校舎を井森工業が建てたと知りました。ほかにも柳井で暮らしていると、知らず知らずの間に井森工業の仕事に触れていることがあります。それほど井森工業は柳井の地に根付いています。その恩返しの意味でも、社会貢献活動は積極的に行なっています。そのひとつが毎月1回行われる道路清掃活動です。

下村: お祭りに参加することも重要な地域貢献活動です。毎年8月に開催される「柳井金魚ちょうちん祭り」には、井森工業のねぶたを出して、社をあげてお祭りに参加しています。私も昨年初めて祭りに参加して、社を代表して会社をPRする仕事をまかされました。

藤井: そして私たち建設業者ならではの力が活かせる災害ボランティア。防府豪雨や岩国豪雨の際には、いち早く駆けつけてボランティア活動を行いました。



柳井まつり「花傘おどり」



防府豪雨災害ボランティア

井森工業の歴史、それはものづくりを通じて  
多くの人に支えられてきたドラマでもありました。  
創立100周年に向け、  
井森工業は新たな一歩を踏み出します。  
同時に、創業時から受け継がれるものづくりの  
精神を未来へとつなげます。



専務取締役 吉岡 由利男

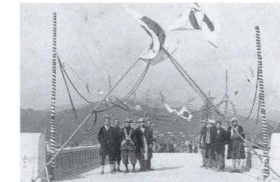


代表取締役会長 井森 浩視

## 創業期



昭和2年(1927)  
井森組 創業 組長法被と算盤

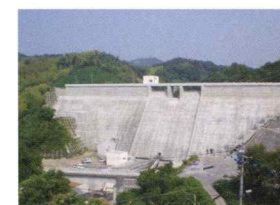


昭和11年(1936)  
鉄筋コンクリート橋梁の久田橋新設工事を着工。  
現在の井筒工法の始まりというべき箱舟工法で施工した。

吉岡: 井森工業の歴史は人の出会いの歴史だったのではないかと思います。  
井森: 当社の歴史は、私の父である井森今助が昭和2年に井森組を立ち上げたのが始まりです。その後、地元の有力者や地域の皆様の尽力があって総合建設業として船出することができました。以来、多くの人々のご指導やご支援の下、官民間わず順調に実績を伸ばし、ここに90年の歴史を刻むことができたことは大変感慨深いものがあります。

吉岡: 協力会社との出会いも大切でしたよ。よいものをつくるには仕事に携わるすべての人がベストを尽くすことが不可欠です。時には大きな声で意見を言い合うこともありますが、完成時の達成感は何物にも変えられません。

## 地元への愛とものづくりの精神を未来へ



黒川川上流ダム



柳井警察署庁舎



県道柳井上関線土橋石川橋梁整備



柳井市立柳北小学校普通教室棟





## 井森工業株式会社

〒742-1398 山口県柳井市伊保庄4907番地  
TEL. 0820-22-1500  
FAX. 0820-22-8510  
<http://www.imori.co.jp/>



## 会社概要

商号 井森工業株式会社

創業 昭和2年(1927年)3月10日

会社設立 昭和25年(1950年)1月10日

資本金 1億円

取締役・監査役  
代表取締役会長 井森 浩視  
代表取締役社長 吉崎 雅弘  
取締役副社長 中崎 光浩  
専務取締役 小澤 雅史  
専務取締役 井森 幹雄  
専務取締役 吉岡 由利男  
監査役 米津 克美  
監査役 玉野井 邦彦

従業員数 115名 (2020年6月30日現在)

有資格者数  
技術士(建設部門) 1名 一級建築士 8名  
一級土木施工管理技士 55名 二級建築士 7名  
二級土木施工管理技士 4名 一級建築施工管理技士 14名  
一級造園施工管理技士 3名 二級建築施工管理技士 2名  
一級舗装施工管理技術者 6名 免震部建築施工管理技術者 2名  
二級舗装施工管理技術者 1名 宅地建物取引士 6名  
推進工事技士 9名 建設業経理士1級 2名  
コンクリート診断士 2名 建設業経理士2級 6名  
コンクリート技士 7名

(2020年6月30日現在)

事業内容 総合建設業  
主な事業：陸上土木工事、海上土木工事、建築工事の設計監理および請負業  
海上地盤改良工事(サンドコンパクション)など

事業所  
本社 〒742-1398 山口県柳井市伊保庄4907番地  
(代表) TEL. 0820-22-1500 FAX. 0820-22-8510  
東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-9-4 フェアモントタワーズイースト4F  
大島営業所 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀新開5406-1  
岩国営業所 〒740-0024 山口県岩国市旭町2-12-29

許可登録  
建設業許可 国土交通大臣許可(特-28)第11号  
一級建築士事務所登録 山口県知事登録(0)第18号  
宅地建物取引業免許 山口県知事(2)第3377号

主要取引銀行 山口銀行 西京銀行 広島銀行 東山口信用金庫